

[令和7年度事務事業]

I. 基本情報									
事業の位置付け									
1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～		施策	(3)多様性を尊重した教育の推進	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①個性や違いを認め自他ともに尊重できる心の育成				
			有・無	指標名	「自分にはよいところがある（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）」と答えた児童生徒の割合				
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有	現状値	小6 83.1%、中3 73.2%(2019年度)		目標値	小6 90.0%、中3 90.0%(2025年度)	
			有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.7	
		寄与するKPI	有	取組	平和、人権、ジェンダー教育の推進				
有・無	指標名		—						
		無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン					
3	事業開始年度			平成 5 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度	
4	実施根拠			学校教育法、児童の権利に関する条約					
事業の概要									
5	事業の実施主体			本庁					
6	事業の対象			市立学校園の幼児児童生徒			対象数	単位	
							58,900	人	
7	事業の目的			様々な国や地域の文化や歴史等について正しく認識し、人権尊重の精神と豊かな国際感覚を備えた人間を育成する。					
8	事業内容			堺市在日外国人教育研究会と共催し、研修会、ハギハッキョ、ワールドハッキョ、ワールド・子どもの集い、多言語進路ガイダンス等を実施。 また、堺市立学校園に在籍する海外から帰国して間もない幼児児童生徒及び外国から来日して間もない幼児児童生徒が、学校園生活において十分に能力を発揮できるよう、日本語指導センター校での日本語指導をはじめとする自立のための指導を行うため日本語指導員等を派遣。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容			—					
9	主な支出先			堺市在日外国人教育研究会、日本語指導員					
10	公民連携・協働事業			—					

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
11	大規模参加型での交流事業への参加幼児児童生徒数	人	目標値	1,144	1,144	1,250	1,350
			実績値	973	1,216		
			達成率	85%	106%		
	当該指標を選定した理由	より多くの学校園が参加し、幼児児童生徒が交流しながらお互いの国や地域の文化や歴史等について正しく認識し、人権尊重の精神と豊かな国際感覚を備えた人間を育てるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	交流事業へ全学校園8人以上の参加を予定した時の合計値。					
	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
12	各学校園における国際理解教育研修の開催回数	回	目標値	50	95	107	
			実績値	74	107		
			達成率	148%	113%		
	当該指標を選定した理由	人権尊重の精神と豊かな国際感覚を備えた幼児児童生徒を育成するには、教職員に対して意識向上の機会を提供する必要があるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和8年度は堺市立学校園数×3/4を目標とする。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	多文化共生推進事業	事業番号	038-051
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	22,693	18,982	52,317	37,240	52,203
	財 国支出金	6,891	5,065	16,633	12,109	16,650
	源 府支出金	0	0	0	0	0
	内 市債	0	0	0	0	0
	記 その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	15,802	13,917	35,684	25,131	35,553
14	人件費（b）	5,220	5,220	5,280	5,280	5,440
15	年間経費（c）=(a)+(b)	27,913	24,202	57,597	42,520	57,643

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	自立支援日本語指導員（センター校）	R7	決算	1,560	1,040	日本語指導研修	R7	決算	46	31
		R8	予算	1,162	775		R8	予算	46	31
	自立支援日本語指導員（在籍校）	R7	決算	24,594	16,396	日本語指導研究支援	R7	決算	506	337
		R8	予算	39,078	26,052		R8	予算	506	337
	帰国・来日生徒等寄添い指導員	R7	決算	2,970	2,008	堺市在日外国人教育研究会業務	R7	決算	820	546
		R8	予算	6,133	4,116		R8	予算	1,059	1,059
	帰国・来日生徒等寄添い指導員（国際理解・人権教育推進校）	R7	決算	99	66	消耗品費等	R7	決算	835	835
		R8	予算	110	74		R8	予算	1,109	1,109
	日本語サポーター	R7	決算	5,810	3,872		R7	決算		
		R8	予算	3,000	2,000		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 大規模参集型での交流事業への参加幼児児童生徒数	人	973	1,216
	② 上記①にかかる年間経費	千円	4,594	4,420
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	4,722	3,635
	算出についての説明等	交流事業への参加幼児児童生徒数の合計で算出。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止していた交流事業を、令和5年度より参集型交流事業として再開した。その影響もあり、幼児児童生徒の参加者数が令和6年度と比較して増加した。 ・また、約6割の市立学校園から子どもたちが参加して交流事業が実施できたため、子どもたちの国際理解教育には寄与することができたと考えている。今後は、更に市立学校園への働きかけを強化し、参加者の増加に努めていく。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・3年連続、参加型交流事業を開催することができ参加する幼児児童生徒数も令和6年度と比較して増加しており、外国にルーツのある子どもの自尊感情の醸成に寄与することができた。 ・また、日本を含む様々な国や地域にルーツのある子どもたちに対して、交流を通じて人権尊重の精神と豊かな国際感覚の育成に寄与することができた。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	年々、増加する外国にルーツのある子どもの自尊感情の醸成や、学校園生活において十分に能力を発揮できるよう、日本語指導センター校等での日本語指導の観点から非常に有効な事業であり、今後も継続していく必要があると考えている。
	有効性	■ 高い □ 低い	また、日本を含む様々な国や地域にルーツのある子どもたちに対して、交流を通じて人権尊重の精神と豊かな国際感覚の育成に有効的に寄与することができる事業でもある。